

デザイン専攻 3 ポリシー

ディプロマ・ポリシー

■ 人材育成目標

デザイン専攻では、「暮らしとデザイン」をテーマに、創造性豊かに美しく心地よいモノ、空間、情報などのデザインや提案ができ、多様化する国内、国際社会に対して適応力のある人材の育成を目標にしています。

■ 卒業までに身につけるべき資質・能力

- ・多様な生活様相や先進的技術に対応できるデザイン概念構築力、それを具現化できる技術力
- ・国内外社会への適応力
- ・人間としての幅広い総合力

■ 学位の授与方針と評価方法

最終年次の「卒業制作」を含めた所定の単位を修得した学生を卒業と認め、学士の学位を与えます。

- ・所定の在学期間の確認、必要単位修得の確認
- ・卒業制作の評価・・・11名程度の審査員が卒業制作作品を様々な視点から個々に採点し、協議の上、総合的に評価を決定します。

カリキュラム・ポリシー

■ 教育課程の編成方針

「暮らしとデザイン」をテーマに学生の個性と社会性の両立を目指し、創造性豊かな思想や表現力の習得ができるようカリキュラムを編成しています。

■ 具体的なカリキュラム構成と特徴

1、2年次前期の【基礎課程】と、2年次後期以降の【専門課程】、及び【関連科目】に分かれています。

- ・【基礎課程】は、デザインの概念を理解し、基礎的な技能と視野を広めるとともに、自らの志向性、可能性が認識できるカリキュラムを用意しています。
- ・【専門課程】は、学生の独自性と自主性を尊重したシステムになっており、学生は4領域の課題を自由に選択し、各自が将来を見据えた独自のカリキュラムを構成します。
- ・【関連科目】は、デザインの社会活動に必要な知識や技量が身につく講義、演習を中心に構成しています。

■ 教育課程の評価方針・方法

- ・課題の指導は、専門性の高い非常勤講師も含めた複数の教員が指導にあたり、評価も複数の教員が総合的に評価し客観性を高めています。
- ・その他の授業科目については、各科目の担当教員がシラバスに定めた方法により評価します。

アドミッション・ポリシー

■ 求める人物像

- ・日々の暮らしの様々なことに興味と好奇心がある人
- ・モノ作りや表現に強い関心があり、工夫が好きな人
- ・問題を発見し、解決する思考力と行動力がある人
- ・様々なものを受け入れる柔軟性がある人

■ 入学前に身につけてほしい学習成果

- ・基礎的な描写力
- ・基礎的な色彩と立体の構成力

■入学試験の基本的な方針・考え方

受験生が能力を最大限発揮できるように、受験生の特性を活かした様々な入試を実施します。また受験しやすい環境を整え、受験生の将来への可能性を高めます。

【一般選抜】

- ・大学入学共通テストによる学力試験および描写、色彩構成、立体構成の実技試験の合算により合否を判定します。
- ・合否ラインで総合得点が並んだ場合に、調査書・活動報告および志願理由書を活用します。

【総合型選抜】

- ・自己アピール資料審査と面接試験により、合否を判定します。※実技試験、学力試験は行いません。

【社会人特別選抜】

- ・自己アピール資料審査と面接試験、小論文により、合否を判定します。※実技試験、学力試験は行いません。